

小学校第3学年 単元別確認テスト8

単元名 〔時間と長さ (啓林館)〕 〔時こくと時間のもとのめ方 (東京書籍)〕	①～⑥ ( / 6 ) 技能	⑦～⑨ ( / 3 ) 考え方	得点 ( / 9 )
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )			

○ 次の時こくをこたえましょう。

① 今から, 50分たった時こく ( )

② 今から, 40分前の時こく ( )



今の時こく

○ あてはまる数をかきましよう。

③ 1分32秒 = ( ) 秒      ④ 103秒 = ( ) 分 ( ) 秒

○ 次の時間をこたえましよう。

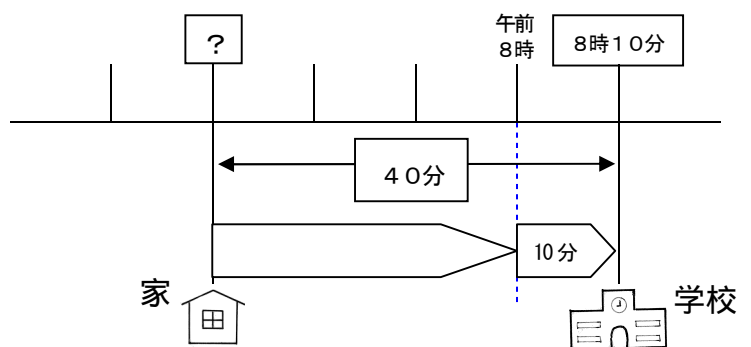
⑤ 家を午後2時40分に出て, 公園に午後3時15分につきました。家から公園までかかった時間は何分ですか。 ( ) 分

⑥ 前とびを35秒, 後ろとびを40秒しました。なわとびをしていた時間は, あわせて何分何秒でしょう。 ( ) 分 ( ) 秒

〔①～⑥技能〕

○ ともこさんは, 家から学校まで歩いて40分かかります。ともこさんが, 学校に午前8時10分につくためには, 家を何時何分に出ればよいでしょう。

⑦ 右の図をもとにして, 家を出る時こくをこたえましよう。  
( ) 時 ( ) 分



⑧ ⑦でこたえた時こくのもとのめ方を, 右の図をもとにしてせつめいしましよう。

⑨ ともこさんの兄は, 家から学校まで歩いて25分で行くことができます。兄が, 学校に午前8時10分につくためには, 家を何時何分に出ればよいでしょう。  
( ) 時 ( ) 分

〔⑦～⑨考え方〕

小学校第3学年 単元別確認テスト8 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		〔7 時間と長さ（啓林館P90～P94）〕〔2 時こくと時間のもつめ方（東京書籍P22～P27）〕							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		（3）時間について理解できるようにする。 ア 秒について知ること。 イ 日常生活の中で必要となる時刻や時間を求めること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	ある時刻から50分後の時刻を求めることができる。	10時10分		○			○		80%
②	ある時刻から40分前の時刻を求めることができる。	8時40分		○			○		80%
③	単位の換算を行い、時間を表すことができる。	92秒		○			○		90%
④		1分43秒		○			○		90%
⑤	2つの時刻の間の時間を求めることができる。	35分		○			○		80%
⑥	時間と時間の和を求めることができる。	1分15秒		○			○		80%
⑦	図をもとに、ある時刻から一定時間前の時刻を考えることができる。	7時30分	○				○		80%
⑧	ある時刻から一定時間前の時刻を求める考え方を説明することができる。	【説明例】 8時10分の10分前は8時、8時の30分前は、 7時30分。	○					○	70%
⑨	ある時刻から一定時間前の時刻を考えることができる。	7時45分	○				○		70%
合 計 9 問			3	6	0	0	8	1	80%

小学校第3学年 単元別確認テスト⑨

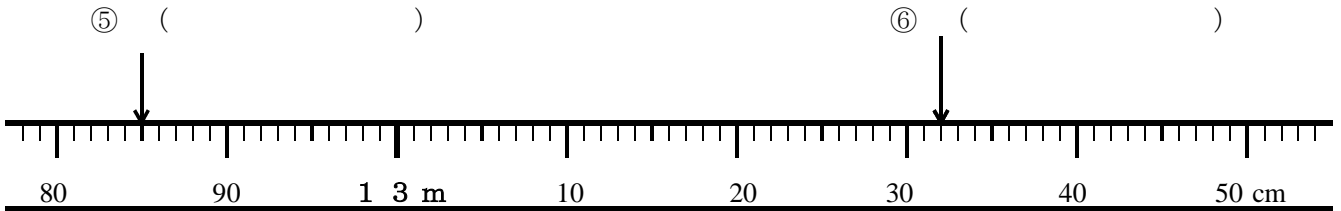
単元名 [時間と長さ (啓林館)] [長いものの長さのはかり方 (東京書籍)]	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="text-align:center;">①～④</td> <td style="text-align:center;">⑤⑥</td> <td style="text-align:center;">⑦～⑨</td> <td style="text-align:right;">得点</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">( / 4)</td> <td style="text-align:center;">( / 2)</td> <td style="text-align:center;">( / 3)</td> <td style="text-align:right;">( / 9)</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">知識・理解</td> <td style="text-align:center;">技能</td> <td style="text-align:center;">考え方</td> <td></td> </tr> </table>	①～④	⑤⑥	⑦～⑨	得点	( / 4)	( / 2)	( / 3)	( / 9)	知識・理解	技能	考え方	
①～④	⑤⑥	⑦～⑨	得点										
( / 4)	( / 2)	( / 3)	( / 9)										
知識・理解	技能	考え方											
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )													

○ ( ) にあてはまる長さのたんいや数をかきましょう。

- ① プールのたての長さ                      25 ( )
- ② 遠足で歩く道のり                              2 ( )
- ③ 1 km 50 m = ( ) m
- ④ 4200 m = ( ) km ( ) m

[①～④ 知識・理解]

○ まきじゃくの目もりを、たんいやをつけてかきましょう。



[⑤⑥ 技能]

○ 次の問題に答えましょう。

⑦ いろいろなものの長さをはかります。まきじゃくを使ってはかるとべんりなものを、次の(ア)～(エ)から2つえらび、記号をかきましょう。

- (ア) 教室のたての長さ
- (イ) ノートのよこの長さ
- (ウ) 木のみきのまわりの長さ
- (エ) けしゴムのたての長さ

⑧ ⑦でえらんだわけをかきましょう。

( )

---

( )

⑨ 学校からゆき子さんの家まで800 m, ゆきこさんの家から公園まで500 m あります。ゆき子さんは、学校から家に帰り、そのあと公園に遊びに行きました。学校から公園まで、ゆき子さんの歩いた道のりは何 km 何 m でしょう。

式

答え

[⑦～⑨ 考え方]

小学校第3学年 単元別確認テスト9 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[7 時間と長さ(啓林館P95~P98)] [3 長いものの長さのはかり方(東京書籍P28~P36)]							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(1) 長さについての理解を深めるとともに, 重さについて単位と測定の意味を理解し, 重さの測定ができるようにする。 ア 長さの単位(キロメートル(km))について知ること。 (2) 長さや重さについて, およその見当を付けたり, 目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定したりできるようにする。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	長さの大きさについての感覚をもとにして, 適切な長さの単位が分かる。	m			○		○	90%	
②	長さの大きさについての感覚をもとにして, 適切な長さの単位が分かる。	km			○		○	90%	
③	kmとmの関係を理解している。	1050			○		○	80%	
④	kmとmの関係を理解している。	4 200			○		○	80%	
⑤	巻き尺の目盛りを正しくよむことができる。	12m85cm		○			○	80%	
⑥	巻き尺の目盛りを正しくよむことができる。	13m32cm		○			○	80%	
⑦	巻き尺を使う上で適切な対象(長さ)を判断することができる。	(ア) (ウ)	○				○	90%	
⑧	巻き尺を使う上で適切な長さや対象について説明することができる。	(ア) ものさしでは, 教室のたての長さをはかるには短すぎるので, はかりにくい。まきじやくだと長くてもはかることができるから。 (ウ) 曲がった物の長さをはかることができるから(巻き尺の長所に着目していれば可)	○				○	70%	
⑨	問題文から加法の式を立て, 条件に合う長さの単位で答えを考えることができる。	$800 + 500 = 1300$ 1km300m	○				○	80%	
合 計 9 問			3	2	4	1	7	1	82%

小学校第3学年 単元別確認テスト10

単元名 [あまりのあるわり算 (啓林館)] [あまりのあるわり算 (東京書籍)]
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

○  にあてはまる数をかきましょう。

①  $27 \div 6$  の答えが4あまり3になりました。答えをたしかめる式は

$$\boxed{\phantom{00}} \times 4 + \boxed{\phantom{00}} = 27 \quad \text{になります。}$$

○ 次の問題に答えましょう。

35, 37, 43, 49, 57, 63, 65, 67
--------------------------------

② 上の  の中から、7でわり切れる数をすべてえらびましょう。

③ 上の  の中から、8でわるとあまりが1になる数をすべてえらびましょう。

【①～③知識・理解】

○ 次のわり算のまちがいをなおして、正しい答えをかきましょう。

④  $50 \div 6 = 7$  あまり 8

○ 次の計算をしましょう。

⑤  $31 \div 4 =$

⑥  $62 \div 9 =$

【④～⑥技能】

①～③ ( / 3) 知識・理解	④～⑥ ( / 3) 技能	⑦～⑨ ( / 3) 考え方	得点 ( / 9)
------------------------	---------------------	----------------------	--------------

○ 次の問題を読んで、答えましょう。

⑦ えんぴつが1ダースと9本あります。このえんぴつを5本ずつたばにします。何たばできるでしょう。なお、1ダースは12本です。  
式

答え

⑧ 38人の子どもたちが、6人ずつ遊えん地のかんらん車に乗ります。何台のかんらん車で、みんなが乗ることができるでしょう。  
式

答え

⑨  $70 \div 9$  の式になる問題を、つくりましょう。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
---

【⑦～⑨考え方】

小学校第3学年 単元別確認テスト10 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[8 あまりのあるわり算 (啓林館P102~P109)] [7 あまりのあるわり算 (東京書籍P68~P78)]						
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(4) 除法の意味について理解し, それを用いることができるようにする。 ア 除法が用いられる場合について知ること。また, 余りについて知ること。 イ 除法と乗法や減法との関係について理解すること。 ウ 除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできること。						
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	
①	わり算の答えをたしかめる方法がわかる。	6, 3			○		○	80%
②	「わり切れる」意味を理解している。	35, 49, 63			○	○		80%
③	余りの意味を理解している。	49, 57, 65			○	○		80%
④	余りが除数より小さくなることに気づき, 正しい答えを求めることができる。	8あまり2		○			○	90%
⑤	(2位数) ÷ (1位数) の余りのある除法の暗算が確実にできる。	7あまり3		○			○	90%
⑥	(2位数) ÷ (1位数) の余りのある除法の暗算が確実にできる。	6あまり8		○			○	90%
⑦	等分除の問題場面を読み取り, 立式して, 余りを切り捨てて答えを考えることができる。	(12 + 9 = 21) 21 ÷ 5 = 4あまり1 4たば	○				○	80%
⑧	等分除の問題場面を読み取り, 立式して, 余りを切り上げて答えを考えることができる。	38 ÷ 6 = 6あまり2 7台	○				○	70%
⑨	余りのある除法の文章問題を考えることができる。	包含除の問題例 70個のクッキーを9個ずつ袋に入れます。何袋できるでしょう。(またクッキーは何個あまるでしょう。) 等分除の問題例 70個のあめを9人に同じ数ずつ分けます。1人分は何個になるでしょう。(またあめは何個あまるでしょう。)	○				○	70%
合 計			9	3	3	3	2 6 1	81%

単元名：〔三角形(啓林館)〕 〔三角形と角(東京書籍)〕	①~③ ( / 3) 知識・理解	④⑤ ( / 2) 技能	⑥~⑧ ( / 3) 考え方	得点 ( / 8)
<b>3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )</b>				

○ 次の(ア)～(カ)の中から、①②の三角形にあてはまるものをすべて選んで記号でかきましょう。

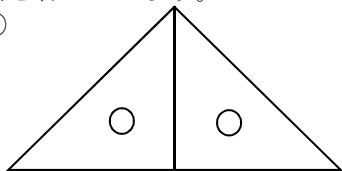
① 二等辺三角形

② 正三角形

- (ア) 3つの角の大きさがどれもちがう三角形  
 (イ) 3つの角の大きさが等しい三角形  
 (ウ) 2つの辺の長さが等しい三角形  
 (エ) 3つの辺の長さが等しい三角形  
 (オ) 2つの角の大きさが等しい三角形  
 (カ) 3つの辺の長さがどれもちがう三角形

○ 同じ三角定規を2まいならべて三角形をつくりました。できた三角形の名前を答えましょう。

③



〔①~③ 知識・理解〕

○ 次の三角形をかきましょう。

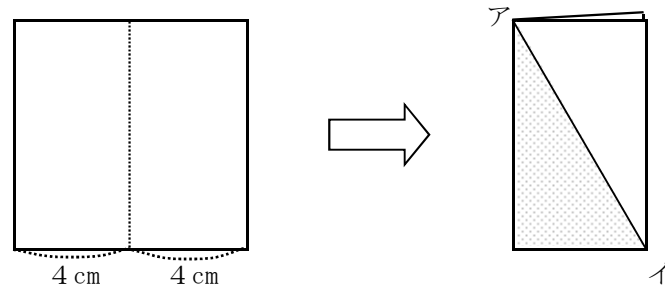
④ 3つの辺の長さが、3 cm, 4 cm, 5 cmの三角形

⑤ 1つの辺の長さが5 cmで、3つの角の大きさがみんな等しい三角形

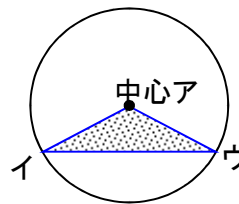
〔④⑤ 技能〕

○ 次の問いに答えましょう。

⑥ 下の図のように、正方形の紙を2つに折って直線アイをはさみで切ります。紙を開いたときにできる三角形はどのような形でしょう。



⑦ 円を使って次の図のようにかいた三角形は二等辺三角形になります。なぜそうなるのか理由をかきましょう。



⑧ ある二等辺三角形の3つの辺の長さを合わせると28 cmでした。1つの辺の長さが12 cmだとすると、残りの2つの辺の長さは何cmになりますか。考えられる組み合わせをすべて答えましょう。

〔⑥~⑧ 考え方〕

小学校第3学年 単元別確認テスト11 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔6 三角形（啓林館下P2～P13）〕〔17 三角形と角（東京書籍下P82～P92）〕							
〈学習指導要領〉 C 図形		(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。 ア 二等辺三角形, 正三角形について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	二等辺三角形の意味や性質を理解している。	(ウ) (オ)			○	○			90%
②	正三角形の意味や性質を理解している。	(イ) (エ) (ウ)(オ)を含んでも可)			○	○			90%
③	三角定規で作った形から、どのような三角形かがわかる。	二等辺三角形 (直角二等辺三角形でも可)			○		○		85%
④	三角形を作図することができる。	省略		○				○	90%
⑤	正三角形を作図することができる。	省略		○				○	85%
⑥	三角形の構成要素に着目し、どのような三角形かを考えることができる。	二等辺三角形	○				○		80%
⑦	円の性質や二等辺三角形の特徴をもとに理由を考えることができる。	三角形の2つの辺は円の半径で、長さが等しいから。	○					○	70%
⑧	二等辺三角形の性質に着目して答えを考えることができる。	1 2 cmと 4 cm 8 cmと 8 cm	○					○	70%
合 計 8 問			3	2	3	2	2	4	83%



小学校第3学年 単元別確認テスト **12**

単元名 [計算のじゅんじょ 1けたをかけるかけ算の筆算 (啓林館)] [かけ算の筆算 (1) (東京書籍)]
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

○ 次の計算をしましょう。

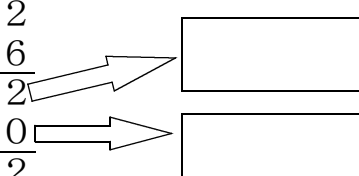
①  $50 \times 7 =$

②  $400 \times 8 =$

【①②技能】

○ 次の筆算の考え方で、□にあてはまる数をかきましょう。

③

$\begin{array}{r} 72 \\ \times 6 \\ \hline 12 \\ 420 \\ \hline 432 \end{array}$		$\square \times 6$  $\square \times 6$
---	---	--

【③知識・理解】

○ 次の計算をしましょう。

④ 
$$\begin{array}{r} 43 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$$

⑤ 
$$\begin{array}{r} 56 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

⑥ 
$$\begin{array}{r} 284 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$

⑦ 
$$\begin{array}{r} 609 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$$

○ くふうして計算しましょう。

⑧  $324 \times 5 \times 2$

【④～⑧技能】

③ ( / 1) 知識・理解	①②④～⑧ ( / 7) 技能	⑨～⑪ ( / 3) 考え方	得点 ( / 11)
----------------------	-----------------------	----------------------	---------------

○ 次の問題を読んで、答えましょう。

⑨ 1こ215円のケーキを5こ、1本120円のジュースを4本買うと、代金はいくらでしょう。

式

答え

⑩ かずやさんは、(ア)の計算のまちがいを、およその数をつかって次のようにせつめいしています。

(ア) 
$$\begin{array}{r} 64 \\ \times 8 \\ \hline 4832 \end{array}$$

(イ) 
$$\begin{array}{r} 703 \\ \times 2 \\ \hline 146 \end{array}$$



かずや

60×8=480だから、4832では、答えが大きすぎるよ。

(イ)の計算のまちがいを、かずやさんのように、およその数をつかってせつめいしましょう。

⑪ 4, 5, 7の数字を1つずつ使って、(2けた)×(1けた)の筆算のもんだいをつくります。答えが一番大きくなるように、□に数字を入れましょう。

×	

【⑨～⑪考え方】

小学校第3学年 単元別確認テスト12 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[10 計算のじゅんじょ(啓林館下P16~P17) 11 1けたをかけるかけ算の筆算(啓林館下P18~P32)] [9 かけ算の筆算(1)(東京書籍P94~P111)]								
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(3) 乗法についての理解を深め, その計算が確実にできるようにし, それを適切に用いる能力を伸ばす。 ア 2位数や3位数に1位数をかけたり, 2位数に2位数をかけたりする乗法の計算の仕方を考え, それらの計算が乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また, その筆算の仕方について理解すること。 イ 乗法の計算が確実にでき, それを適切に用いること。 ウ 乗法に関して成り立つ性質を調べ, それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。								
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式		
①	(何十) × (1位数) の計算が確実にできる。	350		○			○		90%	
②	(何百) × (1位数) の計算が確実にできる。	3200		○			○		90%	
③	(2位数) × (1位数) の筆算の仕方を理解している。	2 70			○		○		85%	
④	(2位数) × (1位数) で繰り上がりがない場合の筆算が確実にできる。	86		○			○		90%	
⑤	(2位数) × (1位数) で繰り上がりがある場合の筆算が確実にできる。	448		○			○		85%	
⑥	(3位数) × (1位数) で繰り上がりがある場合の筆算が確実にできる。	1988		○			○		80%	
⑦	(3位数) × (1位数) で被乗数に空位のある場合の筆算が確実にできる。	3045		○			○		80%	
⑧	3つの数の乗法計算を工夫してできる。	$324 \times (5 \times 2) = 324 \times 10$ $= 3240$		○			○		80%	
⑨	問題場面を読み取り, 立式して答えを考えることができる。	式 $215 \times 5 = 1075$ , $120 \times 4 = 480$ $1075 + 480 = 1555$ 答え 1555円	○				○		75%	
⑩	(3位数) × (1位数) の筆算の間違いを, およその答えと比べて説明することができる。	$700 \times 2 = 1400$ だから, 146では小さすぎる。	○					○	70%	
⑪	条件にあった(2位数) × (1位数) の筆算の問題を考えることができる。	$54 \times 7$	○				○		70%	
合 計			11 問	3	7	1	1	9	1	81%

小学校第3学年 単元別確認テスト13

単元名 [重さ (啓林館)] [重さのたんいとはかり方 (東京書籍)]
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

①~③ ( / 3) 知識・理解	④~⑦ ( / 4) 技能	⑧~⑩ ( / 3) 考え方	得点 ( / 10)
------------------------	---------------------	----------------------	---------------

○  にあてはまるたんいや数をかきましょう。

① かずおさんの体重・・・・・・・・・・29

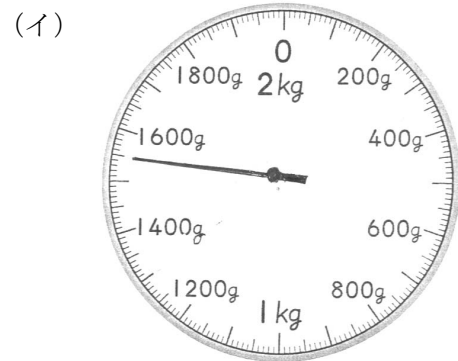
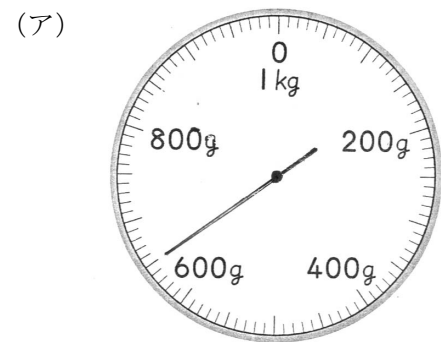
② 1円玉10この重さ・・・・・・・・・・10

③ 3000kg =  t

【①~③知識・理解】

答え

○ 次の問題に答えましょう。



④ はかりのはりがさしている重さをかきましょう。

(ア)

(イ)

⑤ 1kg300gを、(イ)のはかりに、はりをかきいれましょう。

○ 次の  にあてはまる数をかきましょう。

⑥ 1070g + 800g =  kg  g

⑦ 2100g - 1kg400g =  g

【④~⑦技能】

答え

○ 次の問題に答えましょう。

⑧ 500gのかごに、1こ300gのりんごを3こ入れます。全体の重さは、何kg何gでしょう。  
式

⑨ ランドセルに、200gのふでばこと400gの本を入れてはかったら、1kg500gでした。ランドセルの重さはいくらでしょう。  
式

⑩ <sup>ちゅう</sup>中がたトラック1台の重さは5tです。<sup>おも</sup>小がたトラック1台の重さは1000kgです。<sup>こ</sup>中がたトラック2台の重さは、小がたトラックの何倍の重さになるでしょう。  
式

答え

【⑧~⑩考え方】

小学校第3学年 単元別確認テスト13

出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔12 重さ (啓林館下P34~P45)〕〔12 重さのたんいとはかり方 (東京書籍下P22~P32)〕								
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(1) 長さについての理解を深めるとともに, 重さについて単位と測定の意味を理解し, 重さの測定ができるようにする。 イ 重さの単位 (グラム (g), キログラム (kg)) について知ること。 (2) 長さや重さについて, およその見当を付けたり, 目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定したりできるようにする。								
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率		
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式	
①	適切な重さの単位を理解している。	kg			○		○	90%		
②	適切な重さの単位を理解している。	g			○		○	90%		
③	1 t = 1000kgを理解している。	3			○		○	80%		
④	はかりを正しく読むことができる。	ア 650g イ 1550g (または1kg550g)		○			○	85%		
⑤	重さから該当するはかりのめもりを読むことができる。	省略		○			○	80%		
⑥	重さについて加法の計算ができる。	1 870		○			○	90%		
⑦	重さについて減法の計算ができる。	700		○			○	85%		
⑧	問題文から重さについて乗法・加法を使って, 答えを考えることができる。	300×3=900 500+900=1400 (1400g=1kg400g) 1kg400g	○				○	85%		
⑨	問題文から重さについて減法・加法を使って, 答えを考えることができる。	200+400=600 1500-600=900 900g (1500-200-400=900など題意に合っていれば可)	○				○	85%		
⑩	問題文から重さについて乗法・除法を使って, 答えを考えることができる。	中型トラック2台・5×2=10t 小型トラック・1000kg=1t 10÷1=10 10倍	○				○	80%		
合 計			10 問	3	4	3	0	10	0	85%

単元名 [分数 (啓林館)] [分数 (東京書籍)]	①~③ ( / 3) 知識・理解	④⑤ ( / 2) 技能	⑥~⑧ ( / 3) 考え方	得点 ( / 8)
3年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )				

○ 次の問いに答えましょう。

① 1 L は、 $\frac{1}{6}$  L が何こ集まった数でしょう。

②  $\frac{7}{9}$  は、 $\frac{2}{9}$ といくつを合わせた数でしょう。

③  $\frac{1}{10}$  の5つ分を、分数と小数で表しましょう。

分数：

小数：

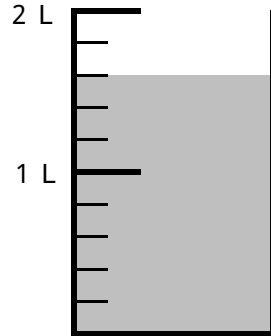
【①~③ 知識・理解】

○ 次の問いに答えましょう。

④ 右の図の水かさは、何Lでしょう。帯分数と仮分数で表しましょう。

帯分数：

仮分数：

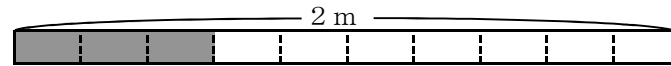


⑤ 次の数を、大きいじゅんにならべて、左からかきましよう。

$\left[ \frac{9}{6}, \frac{4}{6}, 2\frac{1}{6}, 1\frac{2}{6}, 1 \right]$

【④⑤ 技能】

⑥ 2 mのテープを同じ長さに10こに分けた3こ分は、何mですか。




⑦ 2 3 4 5 6

上のような5まいのカードがあります。この5まいから2まいのカードをえらんで分数をつくりましよう。つくった分数のうち、整数で表すことのできる分数をすべてかきましよう。

<input type="text"/>
<input type="text"/>

⑧  $\frac{3}{10}$ と0.4はどちらが大きいでしょう。そのわけも書きましよう。

( ) が大きい
-----
[わけ]

【⑥~⑧ 考え方】

### 小学校第3学年 単元別確認テスト14 出題のねらい及び解答例，評価の観点，目標正答率一覧

単 元 名		[ 1 3 分数 (啓林館下P46~P56) ] [ 1 4 分数 (東京書籍下P46~P58) ]									
〈学習指導要領〉		(6) 分数の意味や表し方について理解できるようにする。 ア 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表わすのに分数を用いること。また，分数の表し方について知ること。 イ 分数は，単位分数の幾つ分かで表せることを知ること。 ウ 簡単な場合について，分数の加法及び減法の意味について理解し，計算の仕方を考えること。									
A 数と計算											
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例			評価の観点			問題形式			目標正答率
		考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式				
①	分数の表し方や仕組みを理解している。	6こ					○		○		90%
②	分数の構成を理解している。	$\frac{5}{9}$					○		○		90%
③	単位分数のいくつ分かを，分数や小数で表す仕方を理解している。	分数 $\frac{5}{10}$ 小数 0.5					○		○		80%
④	図の水のかさを，帯分数・仮分数で表すことができる。	帯分数 $1\frac{3}{5}$ L      仮分数 $\frac{8}{5}$ L				○			○		80%
⑤	分数の大きさを比較することができる。	$2\frac{1}{6}$ , $\frac{9}{6}$ , $1\frac{2}{6}$ , 1 , $\frac{4}{6}$				○			○		80%
⑥	大きさを表す分数は，基準の大きさの1を何等分したか考えることができる。	$\frac{3}{5}$ m (0.6m)			○				○		80%
⑦	分母と分子の数の組み合わせから，整数になる分数を考えることができる。	$\frac{4}{2}$ $\frac{6}{2}$ $\frac{6}{3}$			○					○	70%
⑧	小数と分数の大きさの比較の仕方を考え，その理由を説明することができる。	0.4 が大きい ----- $\frac{3}{10}$ を小数に表すと0.3だから， (0.4を分数に表すと $\frac{4}{10}$ だから，) 0.4の方が大きい。			○					○	70%
合 計 8 問					3	2	3	0	6	2	80%